

撮影した画像の調整（ゴミ取り・色調補正）

合成に用いるための画像のした準備を行います。元の画像データは必ず別名保存しておきます。画像サイズは撮影した大きさのまま作業を行なっていきます。

① 「ゴミ」を取り除きます。

コピースタンプツール、スポット修復ツール、修復ツール、パッチツールなどを用いて手や背景のゴミを取り除きます。

② 色調補正

明るさ・コントラスト、レベル補正、トーンカーブや覆い焼きツール、焼き込みツール、スポンジツールなどを用いて手と背景の色味、特に手に関しては自分が記憶している手の色に近づくように色調補正をします。



手前になる指の選択（選択ツール）

iPod nanoよりも前になる指などを選択ツールを使って、別のレイヤーに書き出します。合成をきれに行うためには、元画像の必要な部分をどれだけ正確に丁寧に選択範囲として設定し、別のレイヤーにコピーをするかが重要です。

③ 手前になる指の選択。

マグネット選択ツール、クイック選択ツール、クイックマスク(ブラシツールと消しゴムツールで調整)などを用いて、iPod nanoよりも手前になる指を選択します。指の付け根などは少し余裕を持って洗濯しておきます。

④ 別レイヤーへ複製。

手前になる指を選択し、コピー (Windows:ctl + c、Mac:⌘ + c) しペースト (Windows:ctl + v、Mac:⌘ + v) する。



iPod nanoの配置 (.psdに書き出す)

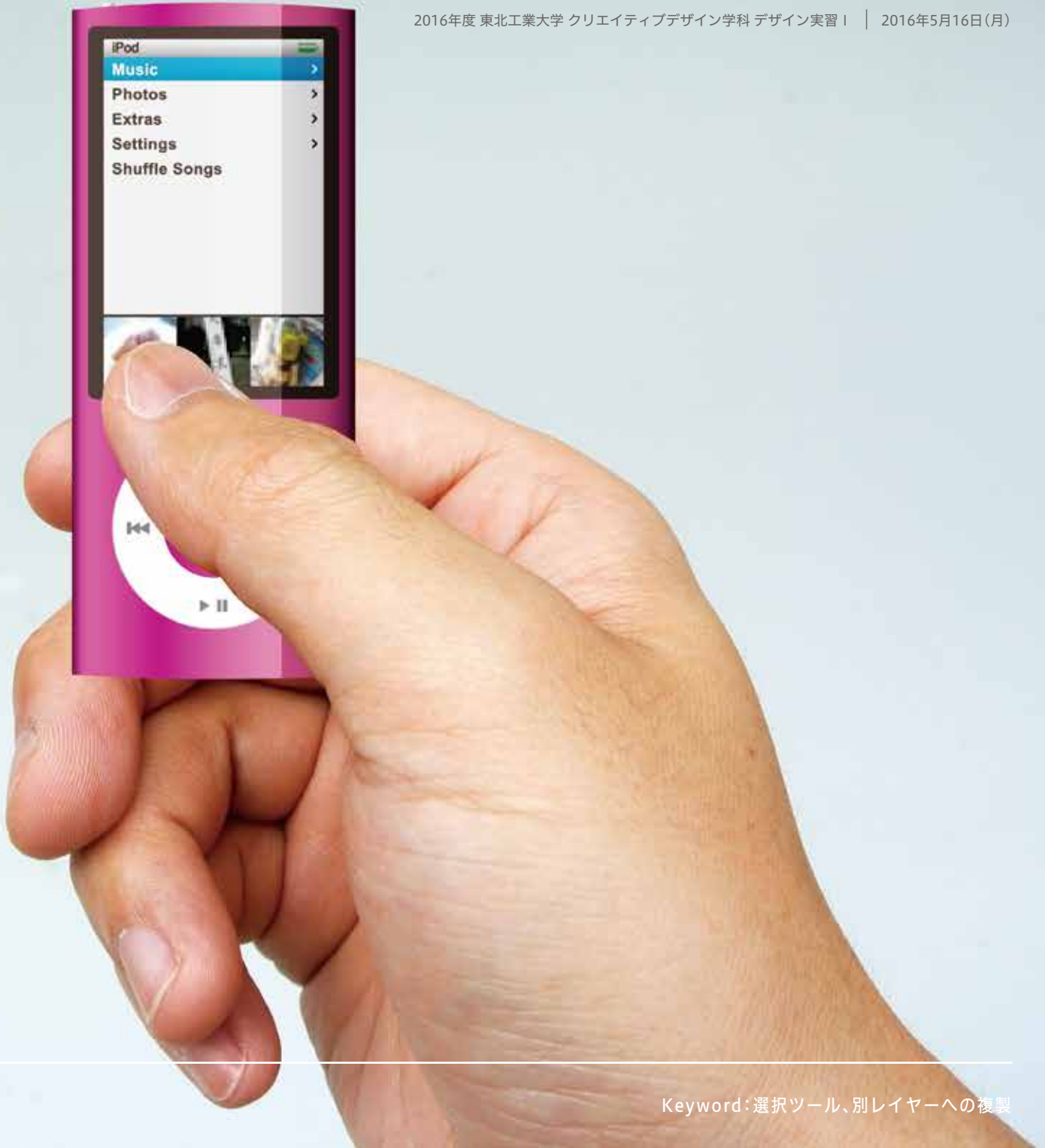
iPod nanoを手で握っているように合成するために、「手」と「手前の指」の間に「iPod nano」の画像を配置します。

⑤ Illustratorから「.psd」形式の画像の書き出し。

- 5-1 Illustratorで作成したiPod nanoのファイルを別名保存します。
- 5-2 iPod nano以外に余計なデータがある場合は全て消します。また見本としていた画像も消去します。
- 5-3 「ドキュメント設定」から「アートボードの編集」を選択し、iPod nanoの大きさにドキュメントサイズを調整します。
- 5-4 「ファイル」から「書き出し」を選択し、フォーマットを「Photoshop(.psd)」を選択します。カラーモードは「RGB」、解像度は「高解像度(300ppi)」を選択します。

⑥ 「iPod nano」画像の配置。

Photoshopへ戻り、「ファイル」から「配置」を選択し、⑤で書き出した「iPod nano」の画像を読み込む。③、④でレイヤーを分けた手の画像の間に「iPod nano」を移動する。



iPod nanoの変形（自由変形）

iPod nanoを自然に手で握っているように合成するために、iPod nanoの画像を変形し位置を合わせます。

⑦ 「iPod nano」画像の変形。

「iPod nano」の画像レイヤーを選択し、「編集」から「自由変形」、「変形」を選択し遠近感などを含め、自然に手で握っているように画像を変形させます。



iPod nanoの厚み（ベベル・エンボス）

配置した「iPod nano」の画像には当然ながら「厚み」がありません。このままでは不自然なので擬似的に厚みをPhotoshopで作成します。

⑧ 「ベベルとエンボス」を用いた「厚み」の作成。

「iPod nano」の画像レイヤーを選択し、「レイヤー」から「レイヤースタイル」、「ベベルとエンボス」を選択します。「ベベルとエンボス」の機能を調整し厚みがあるように画像を加工します。



手前の指の影（白黒・ぼかし）

iPod nanoよりも手前にある指に影をつけます。そのことによって、より手に握られている感が増します。その際に「光の向き」に気をつけることが重要です。

⑨ 手前にある指の複製。

手前にある指のレイヤーを選択し、レイヤーの複製を行います。複製したレイヤーを手前にある指の画像の下に移動します。

⑩ 影画像の作成。

- 10-1 複製した画像のレイヤーを選択し、「イメージ」から「色調補正」を選択し、「白黒」をつかい画像をモノクロ化します。さらに「明るさ・コントラスト」などを用いて画像を暗くします。
- 10-2 「フィルター」から「ぼかし(ガウス)」を選択し、画像をぼかします。
- 10-3 光の向きに配慮して、影の画像を移動します。
- 10-4 影の画像のレイヤーを選択し、不透明度の設定を「乗算」に変更します。さらに、不透明度も100%から変更します。
- 10-5 はみ出している余計な影を「消しゴムツール」を用いて消去します。



iPod nanoの影（白黒・ぼかし）

先の手前にある指と同様にiPod nanoにも影を作成します。レイヤースタイルに「ドロップシャドウ」がありますが、余計な影を消去することができないので、多少手間でもこのような方法で影を作成します。

⑪ iPod nanoの影画像の作成。

⑩で行なった「手前にある指の影」と同様にiPod nanoの影の画像を作成します。このときに、光の向きを揃えるために「手前にある指の影」と同様の向きに影を作成するようにしましょう。



最終の調整（色調補正など）

iPod nanoと手を自然にみせるために最後に再度、色調補正を行います。今回は、iPod nano、手と記憶色を優先するのではなく両者に違和感のないように補正することが重要です。

⑫ 調整レイヤーの活用。

「iPod nano」・「手」をそれぞれに色調補正を行いますが、最後に全体の色調補正も行います。このときに「レイヤー」から「新規調整レイヤー」から各項目を作成し、調整を行うと後ほど修正が行えるので便利です。

⑬ Photoshop形式(.psd)で保存。

レイヤーなどをそのまま保存するため、Photoshop形式(.psd)で保存をします。Photoshop形式(.psd)は、各レイヤーなどをそのまま保存できますが、容量が大きくなります。また、作業中には度々 保存をするように心がけましょう。

